

3. 特別勘定の運用収支状況(平成26年度末)

(単位：百万円)

区分	日本株式型	日本株式 積極運用型	米国株式型	欧州株式型	世界株式型 (為替ヘッジなし)
	金額	金額	金額	金額	金額
利息配当金等収入	757	104	344	101	343
有価証券売却益	-	-	253	99	-
有価証券償還益	-	-	-	-	-
有価証券評価益	5,659	412	4,172	229	243
為替差益	-	-	-	-	-
その他の収益	-	-	-	-	-
有価証券売却損	-	-	-	-	-
有価証券償還損	-	-	-	-	-
有価証券評価損	-	-	-	-	-
為替差損	-	-	-	-	-
その他の費用	-	-	-	-	-
収支差額	6,416	516	4,770	430	587

区分	世界株式型 (為替ヘッジあり)	世界債券型	金融市場型	グローバル・ バランス型
	金額	金額	金額	金額
利息配当金等収入	66	-	1	481
有価証券売却益	-	35	-	200
有価証券償還益	-	-	-	-
有価証券評価益	31	682	△ 0	3,658
為替差益	-	-	-	-
その他の収益	-	-	-	-
有価証券売却損	-	-	-	-
有価証券償還損	-	-	-	-
有価証券評価損	-	-	-	-
為替差損	-	-	-	-
その他の費用	-	-	-	-
収支差額	97	717	0	4,339

(注) 金額は百万円未満を切り捨て。

4. 保有契約高(平成26年度末 /9勘定合計)

(単位：件、百万円)

項目	件数	金額
変額保険(終身型)	54,676	479,003
変額保険(有期型)	761	3,767
ユニット・リンク保険(有期型)	10,815	45,704
積立ユニット・リンク保険特約	755	1,745
合計	67,007	530,221

(注) 金額は百万円未満を切り捨て。

5. 特別勘定の運用状況

《日本株式型》

運用実績 (平成27年3月末日現在)	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
	騰落率(%)	27.88	87.27	71.38
(注) 謄落率は小数点第3位を四捨五入。運用開始日は昭和61年12月1日。				
運用方針 主に日本企業の株式に分散投資することにより、中長期的な成長を目指します。東証株価指数(TOPIX)を上回る投資成果を目指します。				
運用経過および今後の運用方針 当勘定では、主に日本企業の株式に分散投資を行うため、当期間中における資金移動および資産規模を勘案しながら、複数の投資信託を組み合わせた運用を行いました。当該期間中、投資信託の投資比率は概ね高位を維持し、マルチ・マネージャー運用の投資信託やバリュー・スタイル ^(注1) の投資信託を組み合わせる運用を行いました。今後も、引き続き、複数の投資信託を組み合わせた運用を行う方針ですが、組入れ投資信託については継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行う方針です。				
組入れ投資信託 ラッセル日本株式ファンドI-3(適格機関投資家限定) [*] (注3)、(適格機関投資家向け私募)日本株バリューマルチマネージャーファンド [*] 、アムンディ・ターゲット・ジャパン・ファンド(適格機関投資家専用) [*]				

《日本株式積極運用型》

運用実績 (平成27年3月末日現在)	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
	騰落率(%)	28.77	83.27	66.88
(注) 謄落率は小数点第3位を四捨五入。運用開始日は平成13年5月1日。				
運用方針 主に日本の成長企業の株式に分散投資することにより、中長期的な成長を目指します。東証株価指数(TOPIX)を上回る投資成果を目指します。				
運用経過および今後の運用方針 当勘定では、主に日本の成長企業の株式に分散投資を行うため、当期間中における資金移動および資産規模を勘案しながら、複数の投資信託を組み合わせた運用を行いました。当該期間中、投資信託の投資比率は概ね高位を維持し、グロース・スタイル ^(注2) の投資信託に投資しました。今後も、引き続き複数の投資信託を組み合わせた運用を行う方針ですが、組入れ投資信託については継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行う方針です。				
組入れ投資信託 ピクテ・ニッポン・プレミア・グロース・ファンド(適格機関投資家専用) [*] 、フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3(適格機関投資家専用) [*]				

《米国株式型》

運用実績 (平成27年3月末日現在)	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
	騰落率(%)	29.90	114.59	125.37
(注) 謄落率は小数点第3位を四捨五入。運用開始日は昭和61年12月1日。				
運用方針 主に米国企業の株式に分散投資することにより、中長期的な成長を目指します。原則として、為替ヘッジは行いません。S&P500指数を上回る投資成果を目指します。				
運用経過および今後の運用方針 当勘定では、主に米国企業の株式に分散投資を行うため、当期間中における資金移動および資産規模を勘案しながら、マルチ・マネージャー運用の投資信託を組み入れて運用を行いました。当該期間中、投資信託の投資比率は概ね高位を維持しました。今後も、引き続き、複数の投資信託を組み合わせた運用を行いますが、組入れ投資信託については継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行う方針です。				
組入れ投資信託 RIC Russell US Equity Fund ^(注4) 、米国株式インデックスファンドVA(適格機関投資家向け) [*]				

《欧州株式型》

運用実績 (平成27年3月末日現在)	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
	騰落率(%)	9.81	92.67	76.18
(注) 謄落率は小数点第3位を四捨五入。運用開始日は平成11年4月1日。				
運用方針 主に欧州企業の株式に分散投資することにより、中長期的な成長を目指します。原則として、為替ヘッジは行いません。MSCIヨーロッパ指標を上回る投資成果を目指します。				
運用経過および今後の運用方針 当勘定では、主に欧州企業の株式に分散投資を行うため、当期間中における資金移動および資産規模を勘案しながら、マルチ・マネージャー運用の投資信託を組み入れて運用を行いました。当該期間中、投資信託の投資比率は概ね高位を維持しました。今後も、引き続き、複数の投資信託を組み合わせた運用を行いますが、組入れ投資信託については継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行う方針です。				
組入れ投資信託 RIC II Russell Pan European Equity Fund ^(注4) 、フィデリティ・欧州株・ファンド				

《世界株式型(為替ヘッジなし)》

運用実績 (平成27年3月末日現在)	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
	騰落率(%)	25.01	110.38	118.46
(注) 謄落率は小数点第3位を四捨五入。運用開始日は平成13年5月1日。				
運用方針 主に世界各国の株式に分散投資することにより、中長期的な成長を目指します。原則として、為替ヘッジは行いません。MSCI KOKUSAIインデックスを上回る投資成果を目指します。				
運用経過および今後の運用方針 当勘定では、主に世界各国の株式に分散投資を行うため、当期間中における資金移動および資産規模を勘案しながら、当社が選定した世界各国の株式を主要投資対象とする投資信託を組み合わせた運用を行いました。当該期間中、投資信託の投資比率は概ね高位を維持しました。今後も、引き続き複数の投資信託を組み合わせた運用を行いますが、組入れ投資信託については継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行う方針です。				
組入れ投資信託 ラッセル外国株式ファンドI-4B(為替ヘッジなし)(適格機関投資家限定) [*] 、インデックスファンド海外株式(ヘッジなし) ^(注5)				